

環小学校区・天羽小学校区 学校再配置に関する地域住民説明会資料

学校再配置について

富津市教育委員会では、極めて人数の少ない学校が出てきていることから、多くの仲間と意見交換したり、切磋琢磨できる機会を増やすとともに、幅広い人間関係の学べる場として、一定規模を有する教育環境への改善を図る必要があると考えました。

そこで、「富津市小・中学校再配置計画」を策定し、小学校では「複式学級の解消」、中学校では「学年1学級の解消」を目安として、説明会を重ねながら、市内小中学校の再配置を進め、令和2年4月より新体制がスタートしております。

現在、環小学校においては、児童数が極めて少ない人数（現在、環小学校の児童数は39名で、複式学級が2学級）で推移することが予想される中、児童の教育条件の改善を図り、発達段階に応じて意見交換する場や切磋琢磨することにより、たくましい心身を育てていくための教育環境が必要であると考えております。

「富津市公共施設再配置推進計画」から抜粋（令和2年9月 策定）

- ・小・中学校は、富津市小・中学校再配置計画に基づき、再配置を進めます。
- ・学校の更新に当たっては、児童数・生徒数の状況等を踏まえ規模を適正化します。

「みらい構想」から抜粋（令和4年6月 策定）

- ・小中学校については、富津市小・中学校再配置計画に沿った対応をしていきます。

これまでの説明会の実施日等

○学校再配置についての保護者の皆様のご理解を得るために、環小学校と天羽小学校の学校再配置に関する説明会を下記のとおり行いました。

【環小学校】

- ・P T A本部役員説明会・・・2回（令和4年度実施）
- ・保護者説明会・・・・・・・・・・5回（令和4～6年度実施）
- ・保護者へのアンケートの実施
アンケート結果 学校再配置に賛成・どちらかといえば賛成：84％
学校再配置に反対・どちらかといえば反対：16％

【天羽小学校】

- ・P T A本部役員説明会・・・1回（令和5年度実施）
- ・保護者説明会・・・・・・・・・・2回（令和6年度実施）
- ・保護者へのアンケートの実施
アンケート結果 学校再配置に賛成・どちらかといえば賛成：99％
学校再配置に反対・どちらかといえば反対：1％

○保護者の皆さんから、説明会やアンケートで頂いたご意見やご質問などに対して、丁寧に回答をしてきました。その結果として、教育委員会として学校再配置に対する、保護者の皆様の概ね賛成が得られたと判断しております。

地域住民の方への説明会の実施日

○環小学校と天羽小学校の学校再配置について地域の方々のご理解を得るための説明会を、下記のとおり行います。

- ・地域住民説明会（環小学校区住民対象）・・・・・・・・・・令和6年7月22日
- ・地域住民説明会（天羽小学校区及び環小学校区住民対象）・・令和6年7月26日

児童数推移予測（令和6年5月1日現在）

環 小 学 校	学年	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	1	2	9	5	8	2	3	2
2	9	2	9	5	8	2	3	
3	7	9	2	9	5	8	2	
4	9	7	9	2	9	5	8	
5	8	9	7	9	2	9	5	
6	4	8	9	7	9	2	9	
合計		39	44	41	40	35	29	29

天 羽 小 学 校	学年	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	1	27	15	22	23	15	13	15
2	23	27	15	22	23	15	13	
3	32	23	27	15	22	23	15	
4	29	32	23	27	15	22	23	
5	33	29	32	23	27	15	22	
6	23	33	29	32	23	27	15	
合計		167	159	148	142	125	115	103

再 配 置 後	学年	6年度	7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度
	1			27	31	17	16	17
2			24	27	31	17	16	
3			29	24	27	31	17	
4			32	29	24	27	31	
5			39	32	29	24	27	
6			38	39	32	29	24	
合計				189	182	160	144	132

【複式学級について】

Q： 複式学級にする基準はあるでしょうか。

A： 文部科学省による学級編制の定めとして「小学校の1年生と2年生の児童数の合計数が8人以下である場合」及び「小学校の1年生を含まない場合は、引き続き2学年の児童数の合計数が16人以下である場合」となっています。

【少人数の学校について】

Q： 極めて少ない児童数でも、できれば小学校を残してほしいと思います。

A： 極めて少ない人数では学べないこと、体験できないことを、ある程度の人数の中で学び、経験し、社会性を育ててほしいと考えております。

【学校再配置の開始時期について】

Q： 学校再配置を行うとして、開始の時期はいつでしょうか。

A： 教育委員会としては、保護者の方々のご理解をいただけたところから2年を考えています。できる限り令和8年4月に新しい学校を始めたいと考えています。

【説明会の実施順序について】

Q： 保護者への説明の後に、地区の方々への説明という順番でよいのでしょうか。

A： 学校における教育環境の整備については保護者の方への説明を第一と考え、行ってまいりました。

【交流会について】

Q： 学校間の交流会を行ってほしいです。

A： 学習等の交流を計画的に行い、人間関係を深め、不安を解消していきたいと考えています。期間や回数などは、学年の発達状況に応じて、学校と相談しながら進めていきたいと考えています。

Q： 学校再配置を行うのではなく、学校の行事の1つとして交流会を取り入れ、何度も行っていけばよいと思います。

A： 行事だけでなく、日常としてある程度の人数での学校生活から得るものは大きいと考えます。

【スクールバスについて】

Q： スクールバスの停留所の見直しをしてほしいです。

A： スクールバスの試乗会を行い、バスの停留所については、できる限りそれぞれの状況を考慮して設定したいと思います。

【学校再配置に向けた検討委員会について】

Q : 学校名や校歌など変わるのであれば、意見を聞いてほしいです。また、意見を聞くような場はあるのでしょうか。また、学校再配置に向けた検討委員会については、どのような形やメンバーで構成されるのでしょうか。

A : 検討する内容に応じて委員を構成した検討委員会を組織し、必要に応じてアンケートを実施するなどして、地域や保護者の皆様のご意見を伺いながら、学校名、校歌、校章、教育課程、PTA組織等について協議し、決定します。

【子供たちの不安への対応について】

Q : 佐貫小学校や環小学校から、再配置後の学校へ、教員の異動をしてほしいです。

A : 佐貫小学校や環小学校から、児童の様子に詳しい教職員の何名かは、再配置した学校へ異動します。

Q : 環境が変わることに対しての子供たちへのケアやフォローはあるのでしょうか。

A : 再配置などにより不安を抱える児童の心のケアについては、スクールカウンセラーによるカウンセリングを実施していきます。また、事前に交流学习を計画的に実施していくことで不安の解消に努めるとともに、各学校で教職員の連携を密にする、教育相談を充実させるなど丁寧に児童へ対応していきます。

【地域で子供たちを育てることについて】

Q : 地域が全体で子供たちを育てることが地域に学校がなければできないのではないのでしょうか。

A : 登下校がバス通学になると、子供たちに出会う場面は限られますが、できるだけ声かけをお願いします。地域で子供たちを育てていただきたいと思えます。

【跡地の活用について】

Q : 学校がなくなったあとの跡地がどのように活用されていくのでしょうか。

A : 跡地利用等については、地域の振興につながる有効利用について、地域の意見を聴きながら、全庁で検討してまいります。

Q : 再配置後の学校は、避難所として使えないのでしょうか。

A : 利活用団体が決まった場合でも、避難所（防災拠点）として継続して使用できる協定を締結するなどして、対応してまいります。